

令和元年度 第1回 川口市総合教育会議会議録

1 日 時 令和2年3月23日(月) 午前10時00分から11時00分まで

2 場 所 本庁舎5階 大会議室

3 出席者(構成員5名)

(市長)		奥ノ木 信夫
(教育委員会) 教 育 長		茂呂 修平
	委 員	齋藤 卓
	委 員	中田 裕之
	委 員	菅原 京子

(構成員以外)

○市長部局

(市長室長)	五島 淳一	(子ども部長)	根岸 延好
(政策審議員)	明石 隆秀	(子ども総務課長)	秋葉 知佳子
(保健所副所長)	竹内 秀行		

○教育局

(生涯学習部長)	間中 浩之	(学校教育部長)	山田 浩一
(教育総務課長)	稲垣 雅世	(庶務課長)	石田 英樹
(学務課長)	森田 吉信	(指導課長)	三浦 伸之
(学校保健課長)	内田 大輔	(学務課主幹)	高宮 明洋
(指導課指導係長)	中川 猛		

○事務局

(教育総務課長)	稲垣 雅世	(教育総務課庶務係長)	栗原 栄
(学務課学事係長)	齋藤 秀一	(学校保健課管理係長)	北川 茂
(学校保健課保健係長)	田口 文夫	(学校保健課給食第1係長)	宮下 幸治
(学校保健課給食第2係長)	大和 隆	(教育総務課庶務係主査)	森住 まどか
(教育総務課庶務係主査)	菅井 学		

4 議 題

- (1) 開 会
- (2) 挨 拶
- (3) 議 事

- ア 平成30年度 第2回 川口市総合教育会議の会議録について
- イ 市立学校（園）における新型コロナウイルス感染症対策の状況等について
- ウ 川口市教育大綱の改訂について
- エ その他

(4) 閉 会

5 議事の要旨

【開会】

事務局（教育総務課長）

皆様、こんにちは。

本日は、お忙しい中、ご出席をいただき誠にありがとうございます。定刻になりましたので、ただ今より、令和元年度第1回川口市総合教育会議を開会させていただきます。

私は、事務局を務めさせていただきます、教育総務課長の稲垣でございます。どうぞよろしくをお願いいたします。

初めに、本日の傍聴希望者でございますが、本日は、報道機関といたしましてジェイコム様、それから、傍聴希望者が2名いらっしゃいますので、これより入室をしていただきます。

委員

了承

【傍聴者入室】

事務局（教育総務課長）

それでは、本日お配りしております次第に基づき、進めさせていただきます。始めに、奥ノ木市長から、ご挨拶をいただきたいと存じます。よろしくをお願いいたします。

【挨拶】

奥ノ木市長

おはようございます。本日は、令和元年度の第1回川口市総合教育会議を開催しましたところ、委員の皆様には、ご多用中にも関わらずお集まりいただきまして、厚く御礼申し上げます。

さて、本市における新型コロナウイルス感染症への対応状況につきましては、市保健所を中心に、市内における感染リスクの低減、発生時における医療体制の構築などについて、1月下旬から取り組んできたところであります。

市民の皆さまの注意喚起につきましては、日本語、英語、中国語などのポスターを作成

し、駅、飲食店、商業施設などに配布をし、また、専用電話相談を増強し、市民からの相談にも対応しておるところであります。

そして、新型コロナウイルスの検査が自前で行えるようマニュアルを作成し、検査員のトレーニングを行い、3月3日から1日20検体リアルタイムPCR検査が実施できるようになりました。

さらに、今日現在、91検体の検査を実施しまして、陽性者が7名というのが直近の数字であります。

私は、新型コロナウイルス対策本部会議を立ち上げ、全庁一丸となり、市民の不安に向き合い、感染防止に取り組むよう指示したところであり、また、市主催のイベントにおいても感染リスクを踏まえ、個別のイベントの中止・延期を判断するように方針を立てたところでもあります。

今後も60万市民の健康を守ることを第一に、全庁一丸となって取り組んでまいりますので、先生方にはご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

教育委員会におかれましても、学校の休業や生涯学習施設の休館など対応いただいているところでございますが、本日は、市立学校、市立幼稚園における新型コロナウイルス感染症の対策の状況等について、概要を報告いただくとともに、教育委員会の皆様と意見交換をしていきたいと考えております。また、併せて、「川口市教育大綱」の改訂につきましても、意見交換したいと思っております。

それでは、本日の会議につきましても、忌憚の無いご意見を頂くことをお願いいたしまして、私の挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

【議事】

事務局（教育総務課長）

どうもありがとうございました。

次に、大きな3議事、に移らせていただきます。議事進行につきましては、奥ノ木市長にお願いしたいと存じます。

議長（奥ノ木市長）

それでは、これより私が議事の進行を務めさせていただきます。

はじめに、議事の（1）平成30年度 第2回川口市総合教育会議の会議録について、でございますが、第2回会議録については、事前に事務局より配付させて頂いておりますが、この内容について、修正等のご意見はございませんか。

【「異議なし」、の声】

議長（奥ノ木市長）

異議なし、とのお声を頂きましたので、平成30年度 第2回会議録については、お手元

のとおりとさせていただきます。

なお、会議録の署名人について、川口市総合教育会議運営要綱第10条第2項の規定により、私から2名の方を指名させていただきます。それでは、第2回会議録の署名人については、中田教育委員と、菅原教育委員のお二人をお願いいたします。

続きまして、議事の(2)市立学校(園)における新型コロナウイルス感染症対策の状況等について、話をしていきたいと思えます。

それでは始めに、教育委員会より説明をお願いします。

学校保健課長

議事(2)市立学校(園)における新型コロナウイルス感染症対策の状況等につきまして、初めに、学校保健課に関わる内容につきまして、ご説明申し上げます。

1ページをお開きください。まずは(1)市立学校(園)の臨時休業についてご説明申し上げます。

令和2年2月27日に内閣総理大臣からの要請、並びに2月28日付け文部科学省からの通知に基づき、本市におきましても、市立学校・幼稚園の臨時休業を決定したところがあります。対象校は、市立小学校52校、中学校26校、高校1校、幼稚園2園の計81校園となっております。実施期間期間は、小学校、中学校、幼稚園につきましては令和2年3月2日から3月26日まで、高校につきましては令和2年3月2日から3月24日までとなっております。今後の臨時休業につきましては、国、県の動向を注視しながら、適宜対応していきたいと考えております。

続きまして(2)学校保健についてご説明申し上げます。

臨時休業中の児童生徒の健康管理として、各家庭で毎日体温を測り、健康観察を保護者に依頼するとともに、健康の記録を臨時登校日に学校に提出してもらい、健康状態を確認することとしております。また、不要不急の外出は避け、やむを得ない場合は、マスクの活用や帰宅後の手洗いうがいをしっかり行うなど、感染予防に努めるよう保護者に伝えております。

次に、特別な措置として、学校での児童の預かりを実施しており、共稼ぎの関係などから日中児童が一人になってしまう家庭に対しましては、通常の登校時間から下校時間まで、学校で預かっております。各学校からは、学校保健課まで毎日預かっている児童数の報告をお願いしております。

預かり時には、教室、図書室、体育館等を利用し、一室に多人数が集まることのないよう、また、預かり時間についても、記載の(カ)に記載のとおり、極力保護者の負担にならないよう配慮しているところでございます。

2ページをご覧ください。感染対策として、臨時休業中に児童生徒などから感染者が発生した際に備え、市保健所の指導のもと、対応フローチャートを作成し、関係各所との連絡が速やかに取れるよう体制を整えております。

今後の見通しと課題として、学校が再開した場合は、引き続き感染症対策を徹底してい

くこととし、休業措置が継続となった場合には、家庭と連携し、現状の健康観察を続けていくとともに、各種の健康診断や設備の保守点検等につきまして、関係者と日程調整など、臨機応変に対応してまいりたいと存じます。

続きまして、(3) 学校給食についてご説明申し上げます。

食材の発注につきましては、臨時休業決定後、速やかに各納入業者と連絡を取ったことにより、市に納品されたものは、乾物や調味料など保存可能な食材だけでありました。その他3月に使用する予定であった食材につきましては、4月の献立に使用することにより、食品ロスの回避に努めさせていただいております。次に、給食費につきましては、3月2日(月)に引き落としされたものにつきまして、4月下旬に保護者に返還する予定で事務作業を進めております。また、調理員など職員に感染が発生した場合に、すぐに調理室などを消毒できるように消毒用薬剤を購入して備えております。

最後に、今後の見通しと課題として、休業措置が継続となった場合につきましては、その状況に応じて臨機応変に対応してまいりたいと存じます。

指導課長

続きまして、(4) 卒業式につきましては、式の参加者は卒業生と学校職員のみ、式の内容は証書授与と校長の式辞のみと、小学校、中学校ともに同様の対応となっております。会場説教につきましては、資料のとおりでございます。

3月13日に行われました中学校の卒業式につきましては、校長からの聞き取りでは、大きな混乱はなく、落ち着いた雰囲気の中で感動的な卒業式となったと報告を受けております。

次に(5)「学校行事、校外行事について」でございますが、臨時休業中に予定しておりました学校行事、校外行事はすべて中止となっております。中止となった行事につきましては、小学校では、6年生を送る会、高学年の社会科見学、中学校では、3年生を送る会、2年生の校外学習でございます。

次に(6)「臨時休業中の児童生徒の状況について」でございますが、アのうち、特に教室等での学習については、児童同士の座席の距離を取って、落ち着いた雰囲気での学習や読書に取り組んでおります。また、イ家庭学習への対応状況の(イ)につきましては、陽春分校を含む全校で対応しております。ウにつきましては、小中学校の全校がいずれかの形で把握に努めています。

次に4ページをお開き下さい。(7)「令和2年度入学式等今後について」でございますが、配布の資料の内容とは、若干変更をしております。3月19日に関係各課及び市立校長会と慎重に協議をいたしました。始業式につきましては、4月8日水曜日に市立学校・園で実施いたします。内容を縮小し、幼児・児童・生徒の健康面に配慮した形といたします。

入学式につきましては、新入生と教職員及び保護者1名の参加で実施することといたしました。内容は、祝辞及び学校職員の紹介のみといたします。今後も、国の方針、その後

通知されることが想定される県の方針等を受け、引き続き児童生徒の健康と安全の保障を第一に、感染拡大防止の観点から警戒を続け、行事の実施について対応してまいります。

学務課長

続きまして、資料4ページ、(8)「臨時休業中の登校日について」をご覧ください。登校日につきましては、3月26日を全校共通の指定登校日に設定し、修了証を渡すなどを行います。また、その他に、学校ごとに1日から2日の登校日を設定し、健康観察を行ったり、課題の受渡し等を行っております。実際の日数や時間につきましては、下のアからウの表のとおりとなっております。

次に5ページをご覧ください。(9)「教職員の服務について」をご説明いたします。現在、時差出勤をしている教員は、平均で小学校で2.4人、中学校で0.9人となっております。それ以外に特別休暇を取得している教員数は、下の表のとおりとなっております。

次に(10)「小学校と放課後児童クラブとの連携協力について」でございますが、支援員が学校の預かりに協力している学校が6校となっておりますが、学校とクラブ室の連携は取れているものの、限られた支援員の中、学校からクラブ室へ引き継ぐ前に消毒等の対応を行っている関係で、限られたクラブ数となっております。また、クラブ室以外の貸出教室数につきましては、平均1教室となっております。これも支援員の人数が限られている関係もございます。

次に(11)「放課後児童クラブの状況」につきましては、下の表のようになっております。一番左の2月24日から2月29日の臨時休業前と、その右側、臨時休業後3月第1週、3月第2週をそれぞれ比べますと、およそ臨時休業後は4割程度利用児童が減少しておる状況でございます。放課後児童クラブの今後の見通しにつきましては、イ(ア)の①から③でございますように、学校の預かりの状況によりいくつかの対応が考えられます。課題といたしましては、支援員の人数を臨時的に増やすことが極めて困難であることでございます。

次に6ページをご覧ください。(12)「大貫海浜学園・水上少年自然の家について」、ご説明いたします。

アの「校外学習」でございますが、現在、次年度の計画は例年どおりの予定で事務を進めておりますが、今後の見通しといたしましては、①～③のように中止や時期の変更または日数の短縮などの可能性が考えられます。また、イの水上少年自然の家の一般開放につきましては、2月の予約のキャンセルはございませんでしたが、(イ)の表でございますように、3月は10件のキャンセルがあり、全体の38%のキャンセルとなっております。なお、宿泊者の中に、中国から帰国された方から事前の申し出がありましたが、武漢への渡航歴はなく、帰国後2週間以上経過し、発熱等もなかったことから、本人の希望もあり、通常どおりの対応をいたしました。なお、それ以降も感染が疑われるようなケースは、発生しておりません。

市立学校(園)における新型コロナウイルス感染症対策の状況等についての説明は以上

でございます。

議長（奥ノ木市長）

ただ今、教育委員会から市立学校（園）における新型コロナウイルス感染症対策の状況等について、説明がありました。これらについて、ご意見等がありましたら、お願いいたします。

菅原委員

学校保健課から説明のあった学校給食のところをもう少し詳しくお聞きしたいと思えます。給食にかかる食品ロスはかなり抑えたということで、それは安心しているのですが、学校給食の食材を納入している事業者への対応について、もう少し詳しく教えていただければと思います。

学校保健課長

食材を抱えている事業者につきましては、県を通じてフードバンクや、農林水産省で開設しております学校給食応援キャンペーン等の情報が届くので、その都度、各事業者に連絡をして、対応をさせていただいております。食材につきましては、市の保健所の食品衛生の方に確認をしたのですが、賞味期限がございますので、その兼ね合いを見極めながら、可能な限り、事業者に不利益がないように対応させていただきたいと存じます。

中田委員

学校が休業になり、子どもが家に居る時間が長くなっていると思いますが、子ども達の居場所について、どのように検討及び対応しているのでしょうか。

学務課長

子どもの居場所につきましては、この臨時休業措置が出た当初より小学校では、児童の登校時間内は、学校における預かりを継続しておりましたが、今回新たに、市内全校の校庭を、本日から4月7日までの間、9時から11時まで開放をすることとしました。

菅原委員

今回の臨時休業で、一番心配しているのが、本来であればこの時期に実施する予定だった授業等が実施できないことによる未指導の部分の取り扱いについてです。ワークとかプリントでの対応というのでも分かりますが、授業をして子どもたちに学力をつけることも必要と思われませんが、教育委員会として考えていることがあれば、もう少し教えてください。

教育長

3月中に本来ならば授業を実施しなければならなかった部分の授業ができていないとい

うことについては、中学校3年生は、2月に県統一の学力検査がある関係で、それまでに必要な授業は全て終わっています。また、小学校6年生につきましても、ほぼほぼ授業は終わっているということを3月の市立校長会の中で聞いています。一方で、在校生の小学校1年生から5年生まで、中学校1年生、2年生については、教科によって、未指導の部分が数時間あるということも聞いております。このことにつきましては、新年度にスタートした際に、まず未指導の部分を各学校で補うという形をとっていく予定をしております。

中田委員

新型コロナウイルス感染症は、長期化することが予想されております。5月以降まで様々なことがストップするということになると、子ども達の学習の遅れが心配になります。今日現在では、文科省から具体的な方針等は示されていないと思いますが、現時点で何か検討をしていることはありますでしょうか。

教育長

先週の木曜日に行った川口市内の10地区の小中学校長の代表者、中学校長の代表者、幼稚園長2名、高校の校長、トータル23名で、そのことについて協議をいたしました。その結果、出席した校長全員が、可能であれば新学期からスタートしたいという意見でございました。そこで、木曜日の段階ですと、新学期が仮にスタートできなかったとしても、指定登校日を設けて、始業式並びに入学式は実施するというところで全員の意見がまとまったところでございます。今、中田委員がおっしゃっていることの内容は、近日中に文科省から指針が示されると思われまますので、その指針を受けて、最終的に新学期から通常どおり全てが実施できるのか、またはある程度制限のうえ実施していくのか等について、指針を基に教育委員会として校長会とも協議をして、早急に方向性を示す考えでおります。

中田委員

新型コロナウイルス感染症が長期化することを考えると、学校現場でも感染症に関する予防について今まで、一般的なことは実施してきていると思いますが、今日のようなパンデミックが起きた状況について想定してなかったかと思えます。文部科学省の「生きる力の手引き」の追補版で、感染予防についての指針が出ているようですし、パンフレットも作っているようです。拝見したところ、先生方が指導していくうえでの注意点等が分かりやすくできていましたので、ぜひ活用していただきたいなと思えます。

教育長

これは、中学校の保健の授業の中に、追加して新たに教育課程の中に組み込む指導例が出ているものでございますので、ぜひ学校に周知をして、実施していくように進めてまいりたいと思えます。

奥ノ木市長

海外では、先生が小さな子ども達に手の洗い方まで指導している、というニュースを見ました。特に小さなお子さん、小学生には、具体的な指導が必要だと思いますので、ぜひこれからも、校長会などを通じて、指導のほど、よろしくお願ひしたいと思ひます。

議長（奥ノ木市長）

続きまして、議事の（３）川口市教育大綱の改訂について、話をしていきたいと思ひます。それでは、説明をお願いします。

教育総務課長

続きまして、川口市教育大綱の改訂につきまして、ご説明申し上げます。

資料 7ページをご覧ください。

はじめに、（１）の川口市教育大綱についてでございますが、お手元の別添のパンフレットを併せてご覧ください。

川口市教育大綱は、市政全般の総合的な計画である「第5次川口市総合計画」で示す「人としごとが輝く しなやかでたくましい都市 川口」の実現を教育分野から目指し、本市における教育の振興を総合的かつ計画的に推進していくための指針として、平成28年度から5ヶ年計画を市長が定めたものでございます。基本理念といたしまして「一人ひとりが輝く、しなやかさとたくましさをそなえた人材を育てる 川口の教育」として、5つの基本目標を定め、パンフレットをお開きいただきました中のページに記載のとおり、それぞれの目標の実現のため、10の施策を掲げたものでございます。

資料に戻りまして、（２）現在の教育大綱策定後の大きな変化と今後の展望でございますが、本大綱の策定後、4年が経過する中で、いくつかの大きな動きがありました。まず、中核市への移行に伴い、中核市としての責任及び独自性を兼ね備えた教育行政の展開が求められていることが挙げられます。また、市立3校を統合し、平成30年度より新たに川口市立高等学校を開校し、教育内容および教育環境の充実に取り組んでいるところであり、さらに、中高一貫教育の実施に向け、市立高等学校附属中学校の開校の準備を進めているところでございます。3点目として、夜間中学校につきましては、教育機会確保法の趣旨を受け、全国に誇れるモデル校をめざして、平成31年度に開校したところであり、様々な学びのニーズに対応できるよう取り組んでいるところでございます。また、令和2年度からの新学習指導要領の実施に対応し、新たな教科の実施に対応した、様々な取り組みが今後求められることとなります。

このような本市の教育行政に取り巻く様々な変化を反映させるとともに、市の総合計画及び県の計画との整合性を図りながら、令和3年度から7年度までの5ヶ年計画として、教育大綱の改訂を進めて参りたいと考えております。また、これに併せまして、教育振興基本計画の改訂も進めて参る予定でございます。

次に（３）今後のスケジュール（案）でございますが、先ほどご説明いたしましたとお

り、他の計画との整合性を調整しながら、まず、課題の抽出を行ない、素案を作成したのち、来年の1月頃にパブリックコメントを実施したいと考えております。併せて、特別委員会に進捗状況や素案について報告をさせていただき、その後、総合教育会議にてご協議いただいた上、策定するという方向で進めて参りたいと考えております。説明は以上でございます。

奥ノ木市長

ただいま事務局より、川口市教育大綱の改訂について説明がありましたが、これらについてご意見等がありましたらお願いします。

教育を取り巻く環境もこの5年でだいぶ変わってきておりますので、それに合わせて、新しい教育大綱を作っていくということになるかと思っております。特に大きな変化としては、先ず、中核市へ移行し権限がおりてきていることがございます。また、川口市立高等学校の開校し、令和3年4月には中高一貫校も開設します。加えて夜間中学も開校しました。さらには、新学習指導要領も実施されますので、そういったものを踏まえて、改訂をしていきたいと思っております。

何かこれについて、質問がありましたら、どうぞ。

菅原委員

(2)のエの、「新学習指導要領の実施(令和2年度～)」について、小学校では外国語が教科化されたりするなど、いろいろあると思っておりますが、「新たな教科の実施に対応した教育の専任化」という点について、大綱の中に盛り込むうえで、具体的な構想はあるのですか。専任化とはどういうことか、もう少し詳しく教えていただきたいと思います。加えて、「コンピューター環境の整備」ということで、いま学校が臨時休業をしている中で、海外ではパソコンを通して授業をしている国があるという現状を見ると、本市はまだまだなのかなと思うのですが、コンピューター環境の整備について、具体案があれば教えていただければと思います。

奥ノ木市長

コンピューター環境の整備というのは、かなりの予算を立てないと実施できないので、これにつきましては、小学生低学年に至るまで、大規模な予算をつけていこうと考えております。どのようなコンピューター教育をやるのか等、詳細については、教育委員会にお任せするとして、市長としては、大規模な予算を付けて実施していくという方向で進めさせていただきますと考えております。

指導課長

教員の専任化については、小学校の外国語を教える専門の教員を想定しております。令和元年度につきましては、本町小で1名、青木中央小で1名を配置しているところでござ

います。令和2年度は、これに加え、神根小と戸塚綾瀬小を兼務する教員を追加して3名を予定しております。

庶務課長

コンピューター環境の整備については、国のGIGAスクール構想が進んでおりますので、それに合わせまして、小学校1年生から中学校3年生までの義務教育の児童、生徒1人1台のコンピューターを配置できるように整備を今後進めていく予定となっております。本件につきましては、大規模な予算が必要となりますので、十分に学校の状況を検討しながら、過不足なく適切なものを導入して参りたいと考えています。

奥ノ木市長

文部科学省から、初期の導入には補助金が出るという話を聞いていますけれども、パソコンは5、6年で更新時期を迎えてしまいます。担当課から導入に24、5億円かかると聞いております。約5年おきに仮にその額がかかるとすると、市単独では難しいことなので、国には継続して補助の体制をとってもらえるよう働きかけていきたいと思っております。

小学校の英語の専任化のところですが、2、3名で、市内の全学校を回っているのですか。

指導課長

本町小で1名、青木中央小で1名、神根小と戸塚綾瀬小の兼務で1名の配置となるもので、配置する学校以外の学校に回るということはありません。

奥ノ木市長

特定の学校でしか教えないのですか。

学校教育部長

いま指導課長から説明させていただいた専門の教員というのは、いわゆる先進的な取り組みとして、小学校英語専科教員という形で、県の教育委員会が部分的に配置している教員です。実際に英語活動に関しましては、学習指導要領が変わりましたので、教科として小学校5、6年生は週2時間が位置付けられており、学級担任が授業を実施してまいります。それを補助する形といたしまして、ALTという英語の指導助手を市の予算でつけさせていただいていますので、毎日ではないですが、全小学校に配置をしておりますので、そういった補助員と学級担任が実際に授業を行うという形になっております。

奥ノ木市長

先ほどの小学校3校はピックアップして、試験的に、モデル校としてやっているという

ことですね。それでは、モデル校になっていない学校は、どうなるのですか。

教育長

英語の専科教員の配置は、人数が限られていますので、本市では3名という状況となっております。外国語活動と外国語、いわゆる英語については、4月から新たにスタートするわけではなく、これまでも、小学校では授業とまではいかないまでも外国語活動を実施してきております。その中で、小学校の教員に対して、英語の指導のあり方等、研修を積んできており、ある程度は、身につけているであろうということでスタートしております。また、ALTの配置ですとか、今後、中学校の英語の専科の教員との小中連携ということも兼ねながら、進めて参りたいと考えております。

中田委員

これからコンピューターを配布するという話ですけれども、そうなってくると子ども達の間で、情報モラルや危険性等に関する教育を盛り込んでいただければと思います。

教育長

中田委員がおっしゃったように、情報モラルのところで、便利さの数倍、3倍から5倍の危機管理が必要だと思っております。その部分について、各学校で当然指導していく内容であると思っております。同時に、家庭でもコンピューターの扱いについて指導しなければならないと受け止めております。

いま、GIGAスクール構想で教育局として、一番考えているのは、子ども達はパソコンにすぐ慣れますが、課題は指導者と保護者です。特にいま言われているのは、各家庭で子どもがパソコンを使っている時に、全てとは言いませんが、だいたい家庭の方が何て言っているかっていうと、「ゲームばかりしているんじゃない。勉強しなさい。」「パソコン＝ゲーム」という感覚が多いかと思っておりますが、その意識改革をしっかりとしなければなりません。そこがモラルにもつながっていくと思っております。反対に指導者側の学校の教員についても、これからパソコンの取扱い等にかかなりの研修を積み重ねていかないと、子ども達に十分な指導ができなくなってしまいます。そういうところもしっかり、研修を深めて参りたいと思っております。

特に、市長のご英断で大変多額の予算を組んでいただきましたので、十分に注意を払って取り組んで参りたいと思っております。

中田委員

教育大綱との関連で、第5次川口市総合計画がありますが、これは10年単位で見直されていて、現行の計画は2016年から2025年までの10年間となっております。一方で教育大綱は5年毎に見直すということですが、両方の調整を図っていただけたらと思います。

教育総務課長

川口市総合計画は、前期、後期の基本計画からなり、この基本計画は5年の計画期間となっており、基本計画の見直し作業を来年度中に完了させる予定だと伺っておりますので、そちらと整合を図りながら、教育大綱も改訂作業を進めて参りたいと思います。

奥ノ木市長

市長として、教育大綱に関連して、学力向上について、市長に就任してからずっと気にしております。その点について、どのような状況か説明をお願いします。

指導課長

参考資料としてお配りした資料の1ページをご覧ください。

まず、1 学力向上について（1）全国学力・学習状況調査における過去5年間の結果推移でございますが、このグラフは、小学校6年生と中学校3年生を対象とした調査結果を示したものでございます。

各表の横軸のうち、太くなっている「0.0」の線が全国平均の正答率であり、この軸に対して川口市の平均正答率との差を示しております。

この2～3年の推移を見ますと、一時的には数値が下回っているものもございますが、全国平均との差は縮まっていることがわかります。

平成31年度におきましては、小学生の国語と中学生の数学において、全国平均を上回りました。また、今年度から一元化した問題となり、総合的な力を見る問題に変わりました。緑の線がそれを示しておりますが、比較的高い定着が見て取れる結果となっております。

奥ノ木市長

グラフを見て分かりますように、川口市の子ども達の学力は伸びているということが伺われます。やはり、学力向上というのは、一気に伸びるわけではありません。全体を少しずつ引き上げていくのが学力だと思いますので、よく取り組めており、これからが楽しみだなというのが現在の状況だと思います。

続いて、裏面を見ていただけますか。大学進学率が出ていますけれども、こういったものも川口市立高等学校の今年の結果が出ているわけでございまして、平成30年度と比べると伸びてきている様子が、分かるのではないかと思います。

教育長

この結果ですが、今の市立高等学校の3年生は旧市立3校に入学した生徒で、1・2年生は川口市立高等学校に統合した後に入学した生徒です。1、2年生の雰囲気がある3年生にかなり影響を与えていることが推測されます。その結果のひとつの現れなのではない

か、というふうに思います。

奥ノ木市長

1・2年生は、かなりの競争率の中で入学してきました。それに引っ張られて、3年生も頑張ってきたという結果が顕著に出ているのではないのかなと思います。ぜひこれからも頑張っていたきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

学校教育部長

市立高等学校だけでなく、夜間中学として開校した芝西中学校陽春分校につきまして、こちらの進学の実績も、この度出ましたので、口頭になりますが説明をさせていただきますと思います。現在、62名の在籍がございまして、そのうち3年生は25名おり、25名のうちそのまま来年度も残る生徒が6名、卒業はしますが進学しない生徒が5名、残りの14名が進学を希望し、県・公立の高等学校を受検しましたが、全員が合格をいたしました。そのうち、6名が全日制の県立高校、残りの8名が県立・公立の定時制高校です。川口市立高等学校の定時制にも2名合格している状況でございます。

奥ノ木市長

ご苦勞様です。今の説明を伺って、本当に芝西中学校陽春分校を作ってよかったということが言えるのではないかと思います。夜間中学で終わらなくて、更に、全日高校、定時制高校に14名の生徒が受検して、行くことになったのは素晴らしいことだなと思います。

議長

続きまして、議事の（4）その他として、事務局からご連絡があります。

教育総務課長

（4）その他につきまして、令和2年度の総合教育会議の開催予定について、ご説明申し上げます。

令和2年度は、先ほど意見交換をして頂きました教育大綱の改訂につきまして、ご協議頂くなど、年度中に2、3回、会議を開催させて頂きたいと計画しております。開催日時の詳細につきましては、改めてご案内いたしますので、会議へのご参加につきまして、どうぞよろしくお願ひいたします。

議長（奥ノ木市長）

何かご意見ございますか。よろしいですか。

新型コロナウイルス感染症の拡大に関連して、今、海外の留学生はどうなっているのですか。

教育長

海外派遣の留学生につきましては、川口市立高等学校からフィンドレー高校に2名行っておりますが、近日帰国の予定となっております。

その他の海外派遣につきましては、3月11日に教育委員会定例会の協議事項で委員の皆さんからそれぞれご意見をいただきましたので、様々な課題等を踏まえ、文科省の指針等を総合的に鑑みて、今後方向性を決めて参りたいと考えております。

議長（奥ノ木市長）

まだまだ意見交換をしたいところではございますが、時間に限りもございますので、このあたりで終了とさせていただきますと思います。

本日意見交換をいたしました内容については、私の考えや思いも述べさせていただきましたので、教育委員会における事業実施の際に検討していただければと思います。

それでは、議事につきましては、これにて終了となりますので、進行を事務局に返します。

事務局（教育総務課長）

奥ノ木市長ありがとうございました。

本日はお忙しいところ会議にご出席いただき、また、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。以上で、令和元年度 第1回川口市総合教育会議を閉会とさせていただきます。